

令和6年ホヤ類調査結果速報 No. 3

令和6年9月2日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

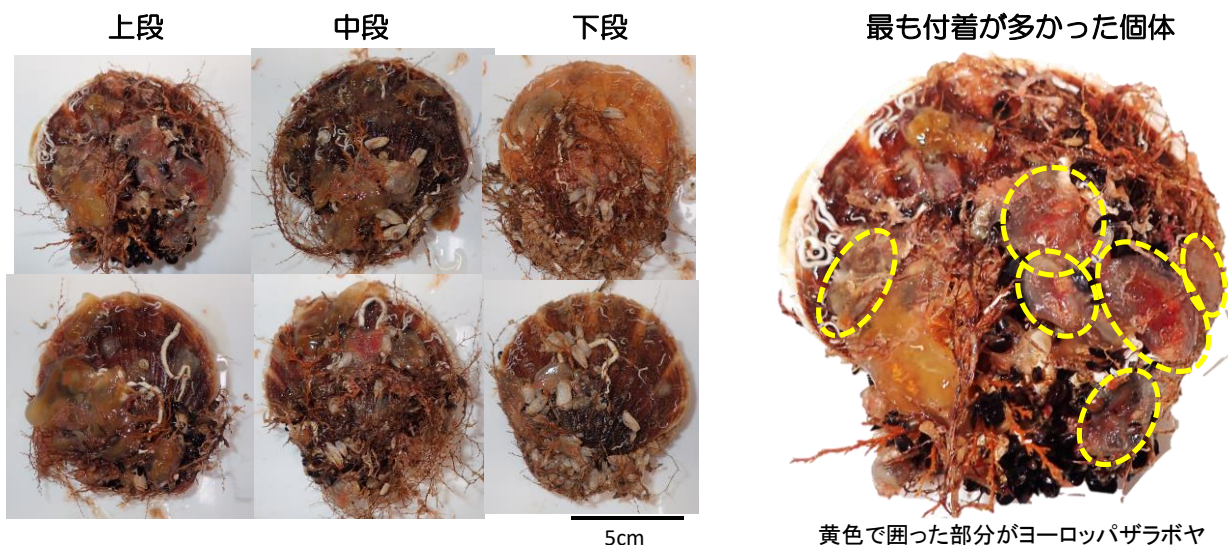
8月28日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

※「平年」とは「過去10ヶ年平均」を表します。

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は 7月から減少しました (図3上)。平均付着個体数はホタテガイ1枚あたり8.6個体(表1)と 昨年および平年を大きく下回っています (図3上)。
- 平均付着重量は3.2gと昨年(3.0g)と同程度ですが、平年(17.1g)を大きく下回りました。
- 平均サイズは12.9mmで、最近付着した微小個体は少なかったです(図2)。
- 付着盛期は過ぎているとみられるので、貝洗い作業の準備を進めてください。ただし、湾内は高水温のため(図4)、ホタテガイへの作業ストレスを最小限にするため、水温低下後に作業開始してください。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和6年8月28日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和6年度有害生物(ザラボヤ)出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

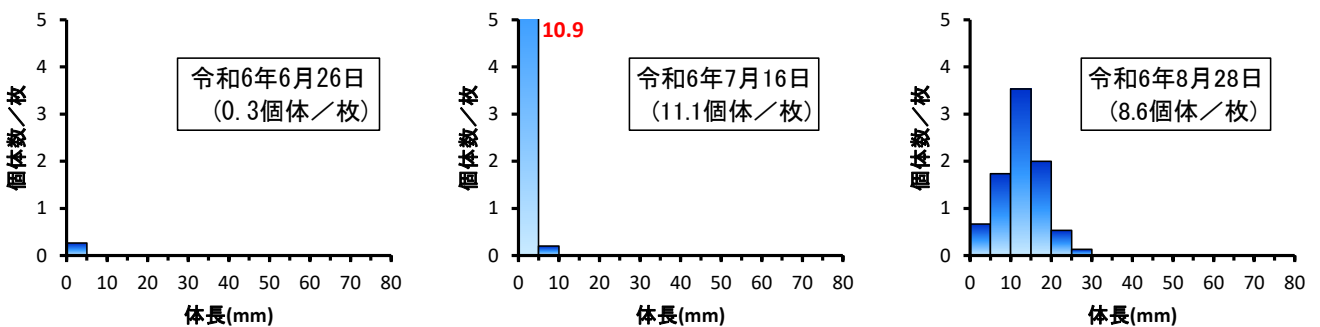
【調査月日：8月28日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚】

ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数は、ホタテガイ1枚あたり8.6個体（平年69.9個体）、平均付着重量は同3.2g（同17.1g）であり、特に、付着個体数はこの時期としては調査開始以降で最低でした（表1、図3）。平均サイズは12.9mm（同9.1mm）でした（表1、図2）。サイズ組成をみると、10～15mmを中心とする組成であり、5mm未満の付着直後の個体はわずかでした（図2）。また、付着個体数は平年では7月から8月にかけて増加しますが、R6年は同期間で減少しました（図3）。これらのことから、R6年は平年よりも付着盛期が早かったとみられます。今後付着数の急激な増加は見込まれないことから、順次貝洗い作業の準備を進めてください。ただし、現在の湾内の水温は表面から深度20mにかけて23℃を超えているので（図4）、水温が低下するまで作業を控えてください。青森県では、養殖貝の垂下深度層の水温が20℃を下回ってから、各種養殖管理作業の再開を推奨しています。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和6年8月28日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	26.1g	21.1g	16.9g	21.4g
ヨーロッパザラボヤ	5.5g	2.8g	1.3g	3.2g
その他	20.6g	18.4g	15.6g	18.2g
ヨーロッパザラボヤ個体数	11.4個体	6.2個体	8.2個体	8.6個体
令和5年8月（R5.8.24）の個体数	33.6個体	35.6個体	21.0個体	38.9個体
令和4年8月（R4.8.25）の個体数	41.6個体	42.0個体	33.0個体	38.9個体
令和3年8月（R3.8.26）の個体数	22.6個体	33.6個体	19.6個体	25.3個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和6年6～8月）



参考 昨年のヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和5年6～8月）

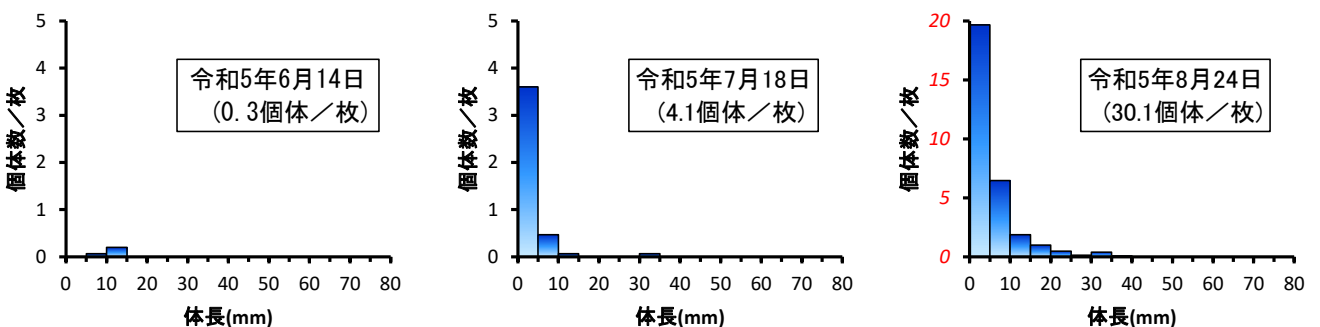
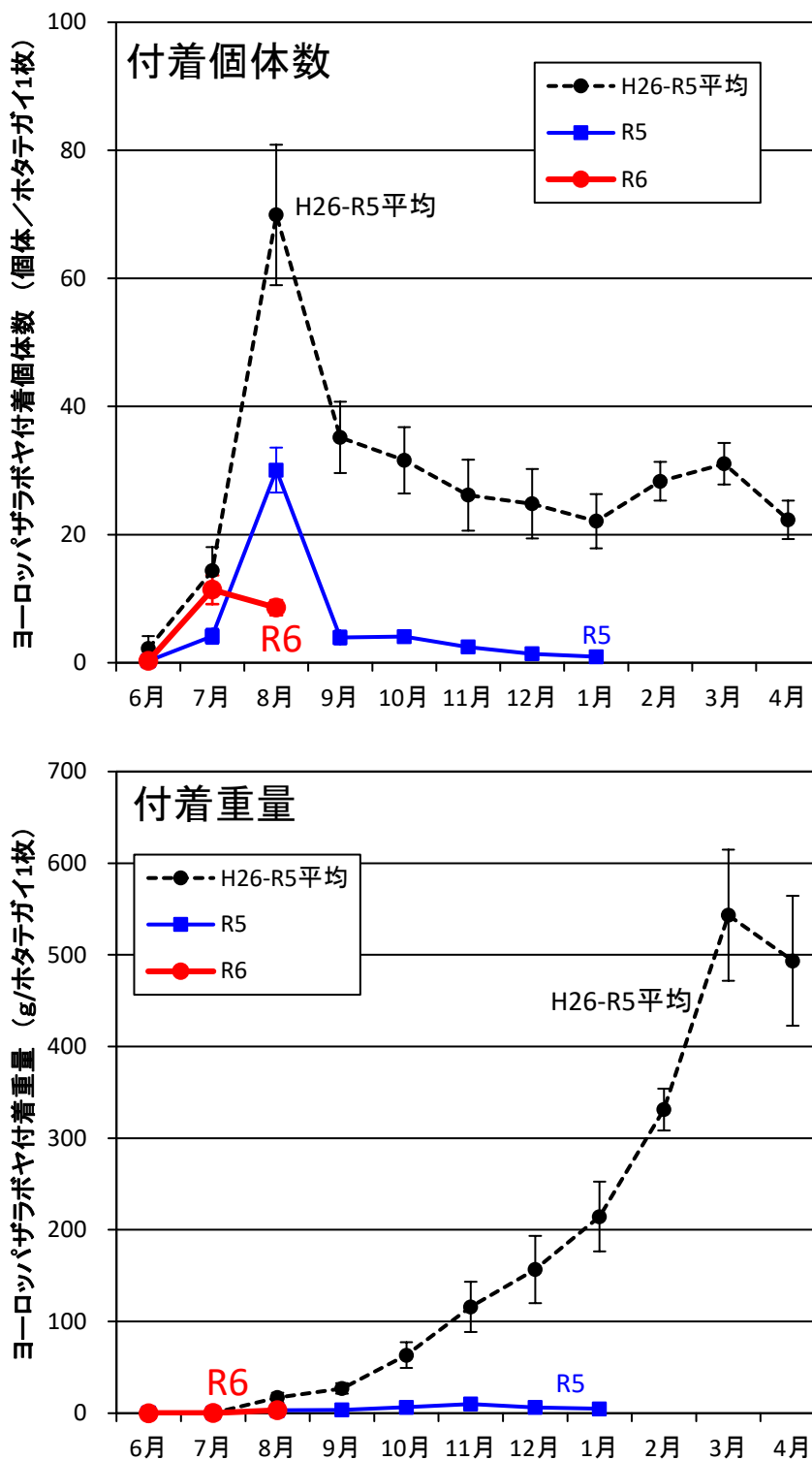


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）

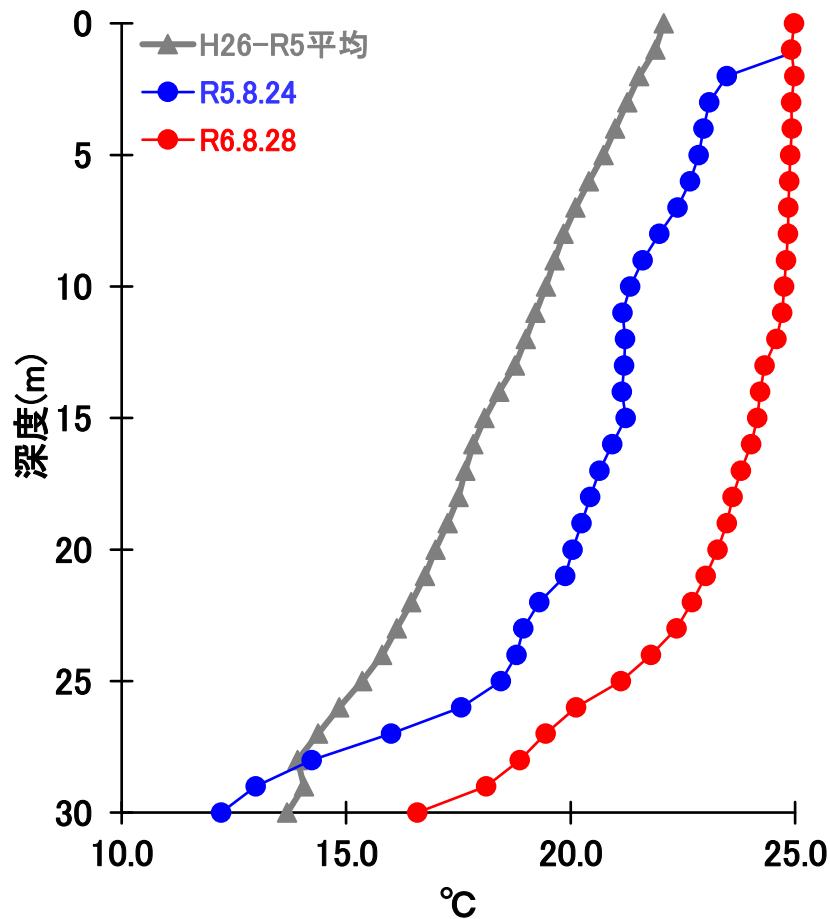


上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去10ヶ年（H26～R5年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は7～8月に大きく増加し、8～9月に大きく減少した後、10月以降は緩やかに減少します。付着重量は10月以降、急激に増加します。

図4 調査地点近傍（八雲沖3マイル）の8月の水温鉛直分布



8月の水温鉛直分布

R6年（赤線）の耳吊り貝の垂下深度層（5～15m 付近）の水温は 24℃を超えており、ホタテガイが衰弱する水温を超えています。これはR5年（青線）よりも2～4℃、平年（灰色）よりも4～6℃高く、8月としてはこれまでに経験したことない水温になっています。貝洗い作業を含めた各種養殖管理作業は水温が低下してから開始してください。青森県では20℃を目安としています。